紀南病院産婦人科

子宮頸部細胞診異常を認める患者様へのお願い

子宮頸部細胞診の異常があれば子宮頸部組織検査を行い病状に応じて慎重に管理を行っていく必要があります。子宮頸部細胞診が異常となる原因の大半は Human papillomavirus（HPV）の感染とされています。そして HPV の持続感染が，子宮頸部上皮内病変（Cervical Intraepithelial Neoplasia 以下 CIN と称する）や子宮頸癌の発症に関与し、特に感染している HPV のタイプが重要で予後に影響することが明らかになってきています。

当科では子宮頸部組織検査の結果が CIN 1 または 2 の患者様には HPV ジェノタイプ検査を保険診療で実施し、その結果を参考に診療計画を決定しています。CIN2 が持続している、または CIN 3 の方で妊孕能の温存を希望される方には円錐切除術以外にも積極的にレーザー蒸散術を行っています。

今回当科で過去 5 年間に HPV タイピング検査を実施した症例において、HPV 感染の有無やジェノタイプ診断と CIN の転帰との関連性を明らかにし、さらに当科でレーザー蒸散術を実施した症例の治療成績を後方視的に検討することになりました。プライバシーには十分に配慮の上、データを解析し結果については後日公表させていただく予定です。得られたデータを今後の治療に役立てていきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いします。

連絡先

紀南病院産婦人科　〔TEL〕 0739-22-5000
〔FAX〕 0739-26-0925

和歌山県立医科大学産婦人科　助教　小林　彩
連絡先：〔TEL〕073-441-0631
〔FAX〕073-445-1161

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:　aya-koba@wakayama-med.ac.jp